

新春賀詞交歓会

ひまわり
議会だより

NO.52
2023.1.16

発行編集 日之影町議会報編集委員会



伊 東 計 治 さん
(高千穂地区農業協同組合 日之影支所長)

いつも皆さまに寄り添えるJA日之影支所で在りたいと、職員一同思っております。ご来店の際にはお気軽にお声かけください。

美 吉 秀 子 さん
(日之影町商工会 会長)

商工業者の経営が安定、向上出来るよう支援しています。事業のことでお困りの方は、お気軽に商工会までご相談ください。

議案紹介。P 4

令和4年度補正予算。一般質問P 5～P 7

所管事務調査報告。P 8 日之影中学校傍聴感想。P 9

議長あいさつ



議長 高館 英嗣

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えの事と思いません。議会を代表して謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は壬寅という年であり、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」などの意味を持つ年でもありました。

全国和牛能力共進会も開催され、出場された皆様が、素晴らしい成績

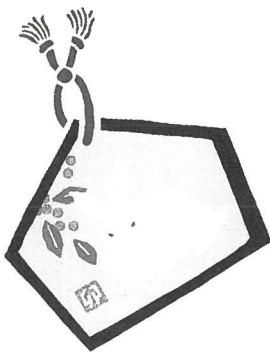
を収め、今後の畜産業の振興に非常に良い追い風となった年でもありました。さらに、生活面におきましては、段階的に各行事が行われるようになり、コロナ禍においても新たなスタートが切られた年になったのではないかと振り返ることが出来ます。そして、本町議会においても新たな候補者もあり、活気のある選挙戦が行われ新しい議会構成へと変わったところです。

さて、本年は癸卯にあたる年であります。「癸」という漢字には、雨や露、霧など、静かで暖かい大地を潤す、恵みの水を表しており、十干の最後にあたるため、一つの物事が収まり次の物事へと成長をし始めている状態を意味します。また、「卯」は穏やかな兎の様子から安全、温和の意味があるともいうさぎのように跳ね上がるという意味もあります。その両方を備えた「癸卯」は、様々なことへの区切りが付き、次の段階へと向かっていき、そこに成長といった明るい世界が広がっていくと解釈できるのではないのでしょうか。干支を紐解いて考えると、様々な

ことが好転していくとともに、本町議会が、町民の皆様の生活と本町発展のために、更に成長する姿が望まれているのではないかと考えられます。まずは、開かれた議会の構築に向けて議会放送の早期実現、意見交換会の開催を計画し議会の成長に繋げていきたいと思えます。

本年も、御指導を仰ぐこともあるかとは思いますが、様々な場面において視野を広く持ち、皆様と同じ目線に立ち続けることで、町民の皆様への負託に応えられるよう議員一同活動して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様の志や夢が兎のように飛躍していくことを御祈念いたしまして、新年の御挨拶にかえさせていただきます。



本年度から肉用子牛

保証価格上げ

飼料など生産不意の高騰を受け、農林水産省は来年度から肉用子牛の保証基準価格と合理化目標価格を一部引き上げ、農家の支援拡充を図る。

保証基準価格は、黒毛和種が55万6千円（本年度54万1千円）この肉用子牛生産者補給金制度の引き上げは昨年令和4年度6月に日之影町議会が農水省へ要望を行った案件である。



【農水省への要望の様子】

議 会 活 動

(10月22日～1月15日)

- 10月23日 林道高千穂日之影線乙女大橋開通式
- 24日 第3回臨時会
- 26日 日向く県北地区あいさつ回り
- 27日 県庁あいさつ回り
- 28日 町村議会議長会臨時総会・議員大会
(高原町)
- 28日 町村議会議長会臨時総会・議員大会
(高原町)
- 29日 ひのかげ溪谷まつり
- 30日 高千穂町制行100周年記念式典
- 31日 北部行政事務組合議会
- 11月1日 県建築協会要望
議会運営委員会
- 2日 町村議長会局長研修会
- 2日 県林活研究委員会
- 5日 神楽まつり
- 9・10日 町村議会議長会全国大会
- 11日 高齢者スポーツ
大会
- 14日 郡町村議会第3回定例会・歓送迎会
地域おこし協力隊辞令交付式
議会報編集委員会
- 15日 議会全員協議会
- 17日 町村議会幹部議員研修会
総務文教所管事務調査

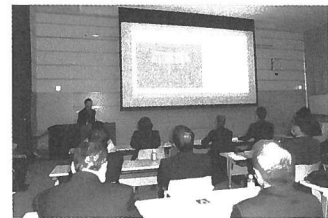


【高齢者スポーツ大会】

- 18日 郡町村議会議員大会
- 21日 社会福祉協議会理事会
- 21日 非核・平和行政自治体要請キャラバン
- 24日 経済建設所管事務調査
- 25日 議会運営委員会・全員協議会
総務文教常任委員会・経済建設常任
委員会
- 28日 県町村議会議長会役員会
- 30日 市町村対抗駅伝大会結団式
- 30日 議会広報研修会
- 12月1日 地域おこし協力隊辞令交付式
民生委員委嘱式・歓送会
- 2日 第4回定例会
議会運営委員会・全員協議会
第9回公立病院の広域医療等に関する特別委員会
(初日)
- 6日 社会福祉協議会評議委員会
- 9日 第4回定例会
議会運営委員会・全員協議会
(一般質問)
- 13日 第4回定例会
議会全員協議会
(最終日)

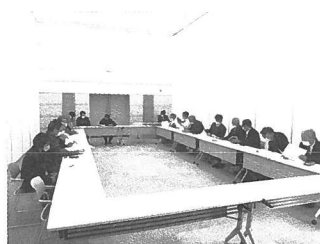


【議長あいさつ】



【講演会の様子】

- 15日 見立地区
ポルタリング
支援会との
意見交換会
- 14日 郡林活役員会
- 13日 延岡市議会と郡議長会意見交換会
- 10日 交通安全祈願祭
- 9日 市町村対抗駅伝競争大会
- 6日 賀詞交歓会
- 5日 消防始め式
- 1月4日 仕事始め式
はたちの集い
- 28日 仕事始め式
- 27日 議会全員協議会
議会報編集委員会
- 26日 郡長村議会議長会第4回定例会
- 22日 市町村総合事務組合議会臨時会
- 20日 「ふれあいサポートセンター」開所式
- 20日 議会報編集委員会
- 27日 丹助岳作業道
視察



【意見交換会の様子】



【視察の様子】

令和4年 第4回定例会

議決議案 主な議案は働き方と給与に関するもの。定年延長と国の働き掛けによる給与の底上げ。

議案番号	件名	概要
議案 第54号	日之影町職員の降給に関する条例の制定	地方公務員の定年が段階ごとに引き上げられるとともに60歳に達した職員の給与を7割に降給する。
議案 第55号	日之影町職員の高齢者部分休業に関する条例の制定	60歳に達した職員が公務の運営に支障がないと認められた場合に、一週間あたりの通常の勤務時間の2分の1を超えない範囲内で休業を行うことができる。
議案 第56号	日之影町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定	定年が段階的に引き上げられるとともに、降任並びに定年前再任用短時間勤務の制度が設けられる
議案 第57号	日之影町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員法の一部改正により、「再任用短時間勤務職員」が「定年前再任用短時間勤務職員」に定められる
議案 第58号	日之影公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	定年が段階的に引き上げられることにより、定年延長後の職員を派遣することが出来るようにする。
議案 第59号	定年延長等制度に伴う関係条例の整備に関する条例の制度	地方公務員法の改正により職員の懲戒の手続きや育児休業など、関係条例の一部を改正または廃止する。
議案 第60号	日之影職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	若手職員の給与月額引き上げ、一般職員0.1月、再任用職員勤勉手当支給月数を0.05月引き上げるもの
議案 第61号	町長、副町長及び教育長給与条例の一部を改正する条例	期末手当支給月数を0.05月引き上げるもの
議案 第63号	西臼杵広域行政事務組合規約の変更について	西臼杵郡内3公立病院の経営統合に向け共同処理する事務及び費用の分担について追加が必要となり、規約の変更について議会の議決を求めるもの。
議案 第64号	令和4年度日之影町一般会計補正予算(第6号)	台風14号による災害復旧費、新型コロナウイルス感染症対策及び電力等価格高騰対策事業に関する経費、並びに人事院勧告に伴う人件費等が主なものP5参照
議案 第65号	令和4年度日之影町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	新型コロナウイルスワクチン接種費用、人件費及び経費の補正で720万円追加し、予算総額7億2007万円とするもの
議案 第66号	令和4年度日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	病院事業会計操出金に伴う補正で480万円追加し、予算総額7億5622万円とするもの
議案 第67号	令和4年度日之影町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	人件費の補正で208万円減額し、予算総額6888万円とするもの
議案 第68号	令和4年度日之影町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	光熱水費及び修繕料の補正で33万円追加し、予算総額2575万円とするもの
議案 第69号	令和4年度日之影町介護保険特別会計補正予算(第3号)	介護サービス諸費等の補正で1819万円減額し、予算総額7億1005万円とするもの
議案 第70号	令和4年度日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	後期高齢者医療広域連合納付金の確定に伴う補正で97万円追加し、予算総額5575万円とするもの

否決議案

議案 第62号	町議会議員の議員報酬費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	期末手当支給月数を0.05月引き上げるもの
---------	--------------------------------------	-----------------------

否決理由として、人事院勧告に伴う全国での議員の期末手当の引き上げが行われているが、台風災害の爪痕が癒えぬ町内の状況をみて自ら自粛するものとした。

令和4年度日之影町一般会計補正予算

今回の補正は、台風14号による災害復旧費、新型コロナウイルス感染症対策及び電力等価格高騰対策事業に関する経費、並びに人事院勧告に伴う人件費等が主なものです。

予算総額 67億2,279万円

注目補正予算一般会計

災害復旧費



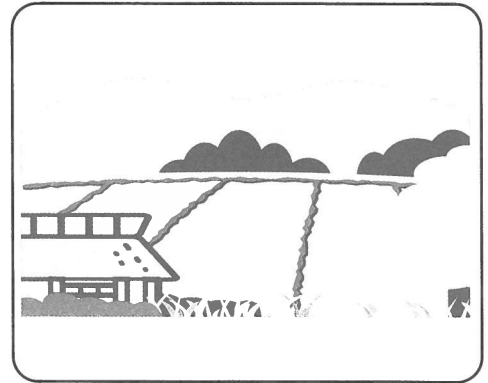
土木施設災害復旧費等
12億8,890万円追加

総務費



物価高騰対策給付金等
2,146万円追加

農林水産業費



中山間地域等直接交付事業補助金等
2,056万円追加

一般質問

町長

ウィズコロナや新たな行政需要にも対応していく必要がある

問

台風14号被災への激甚災害指定を受け、当初予算編成方針について

特に被害の大きかった、町道林道並びに農地等の復旧工事については、12月から来年1月にかけて、国の災害査定を受け、2月以降に緊急性の高い箇所から工事を発注して行く。復旧工事については、工事箇所も多いことから、4年度、5年度の2か年に渡る工事執行を考えている。

町長

台風災害復旧事業の工程について



小谷 幸治
議員

町長

台風災害の早期復旧を優先的に実施する

令和5年度当初予算編成の基本方針は

するため、事業の緊急性や優先度を精査し、既存事業の廃止縮小、再構築に取り組み。住民の福祉の増進に真に必要な予算は何かを、職員一人、一人が主体的に判断し、重点化するべき施策などを見極めた上で、令和5年度の予算編成にあたる。

問

第5次長期総合計画や地域創生総合戦略の目標達成に向けた、重点施策について

町長

次の五つを令和5年度の重点施策とした。

①ウィズコロナの対応と地域活性化 ②未来を拓く次世代育成と一人ひとりが主役のまちづくり ③「魅力」と「資源」を活かした農林業・商工業・観光の振興 ④ともに支え合い、喜びを感じる健やかなまちづくり ⑤住み続けた安心・便利なまちづくり。

日之影町の30年後は

町長

「子育てするなら日之影町」を発信し、若者及び独身層の後押しを行う



野 議 員
河 野 議 員

問 日之影町の人口が過去10年間で789人減。このままでは30年後には1000人を割ることが危惧される。人口減の対策は

町長 日之影町の人口は年々減少し、今年11月末時点の現住人口は3,349人。昨年と比較し148人減少。又、近年の本町の人口動態を見ると高齢化による人口減少がやや進んでいる状況にある。
人口減少対策として「移住定住奨励金」や「住宅新築・リフォーム定住促進事業補助金」などの支援策を講じている。「住宅需要」は量から質への転換が求められており、居住ニーズに対応した新しい住宅政策が必要であると考え「新しい住宅、移住

問 現在の未婚者数と日之影町独自の未婚者対策、婚活活動をやっているか

町長 本町の未婚者数は、令和2年の国勢調査によると、59歳未満で男性が263人、女性149人の合計412人となっている。
本町独自の未婚者対策、婚活活動については、独身者への婚活情報の提供をはじめ、農業委員会との連携や過去に独身者を対象とした交流事業等を行ったことがあるが、参加者を募るのに大変苦慮した。町独自の婚活活動を行うよりも広域で実施した方が効果的であると考え、宮崎県が県内3ヶ所に設置し、延岡にある「宮崎婚活サポートセンター」との連携を深め、若者及び独身層の後押しを行ってきたい。

かかげた目標の検証は

町長

概ね遂行されている



陸 彦 議員
甲 斐 議員

問 第5次長期総合計画の集大成について

町長 地域創生推進協議会に於いて一定の評価を載っている。

問 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの近隣行政との取組み状況について

町長 各市町の状況に合わせて柔軟な活動を行うこととしており、登録地域の活性化に貢献していく。

問 ボルダリングの支援と環境整備について

町長 見立地区支援会へ経費の一部を補助、今後も継続的な支援を検討していく。

問 中川チューリップへの支援について

町長 自己完結型の地域づくりを尊重しながら、サポートをしつかりしている。

問 道の駅青雲橋・温泉駅の顧客満足度を把握しているか伺う

町長 定例会にて情報の共有を図り今後の施設運営・おもてなしの向上に努める。

問 学ぶ環境の整備を伺う

教育長 学校施設長寿命計画を基に改修工事の整備を進めている。

問 教育水準の向上と教育活動の施策を伺う

教育長 ICT教育やキャリア教育の充実を図る。奨学資金貸付制度は近隣行政に比べ劣っていない。

問 生徒のSDGsの意識について

教育長 学習と関連付けて意識は高まっていると感じている。今後は教育に通じた持続可能な開発の推進に努める。

問 小規模公民館の機能低下に対する取組みを伺う

教育長 自主的な活動を尊重し、これまで以上の国県の補助事業を模索しながら支援を行う。

日之影町内外における今後の情報発信の在り方、 台風災害時各段階においての情報発信は

町長

町民誰もが解りやすい情報発信の在り方を検討し、早期に復旧・復興を行う



久保 優一
議員

問

防災計画の周知について現在不足していると思われるがどうか

町長

町民の防災意識を高めるため令和3年度に防災マップを全戸に配布。また出水期前には啓発チラシなど配布している。

問

この度の災害で情報発信不足を感じたがどうか

町長

台風14号では大きな被害が発生し一時外部との連絡が取れない状況になったが情報入手した際に防災無線、LINE等随時発信を行った。

問

復旧作業について不公平感を感じられた方々がおられるかどうか

町長

幹線道路から支線と進めているので復旧の早い遅いは地区により異なる状況が発生する。町民の皆様についてはご理解を願いたい。

問

繰り返し見られるよう、町民誰もが分かりやすいテレビで動画として配信してみてもどうか

町長

事前に録画しておいて台風前に配信することも可能かと思われる。

問

「随時」ではなく把握できていない状況も含め「定時」に発信を行ってみてはどうか

町長

定時連絡という方法も町民の皆様の安心に繋がるかもしれない。内部で研究する。

問

災害時に行政のほうから作業の開始を伝えてくれれば安心できるのではないかと

町長

復旧作業においては各集落事務連絡員に連絡することも可能かと思われる。内部で研究する。

町長

地域核力の底上げ、人材の育成、確保が重要

地方創生には人材が必要ではないか



高 館 英 嗣
議員

問

地方創生には人材が必要不可欠と考えられるが、少子高齢化に伴う人口減少時代において、人材確保に苦慮する場面が想定されるが町長の所見は

町長

地方創生の推進にあたっては、地域の活力と活性化を図り、町民一人ひとりの認識や地域活力を底上げしまちづくりの担い手となる人材の育成とともに確保に努める事が重要である。少子高齢化の進展、アフターコロナ時代における地域経済の再生など、激しい環境変化もあり、本町の職員においても、幅広い視野を持ち、使命感及び倫理感をもって職務にあたる職員が求められており、多様性、専門性を考慮し採用することが重要である。採用試験の募集年齢は、一般職及び技術職で30歳まで、専

地域を生き生きと。役場職員も生き生きと。

「地域の担い手不足」などの課題に直面した際に「役場に関してもってほしい。職員自身が地域の担い手になればいい」という意識の基、構想・議論を重ねる。

『半官半X』

自分自身で働き方をデザインする事で、職員も生き生きと働ける。海士町のために働く人が増えることで、地域も生き生きとする。という理想を掲げて形づくりを進めている。

『兼業型(半X)』と「公務拡大型(特定半X活動)』

兼業型(半X)は職員が趣味や特技を委明かした活動をする事。職員がやりたいことを(給料減額)「地域のためになる」ことであればどんな活動も可能。公務拡大型(特定半X)は半X活動と異なり「緊急性」「公益性」を重視し、職員が職務の一環として従事する。

【島根県海士町の取り組み事例】

門職については39歳までとしているが、新卒者に限らず社会人経験者も多数受験していた。これまで採用している。また、地方公務員法が改正され、定年が引き上げられるので、定年延長制度の活用とともに、募集や採用方法を工夫し人材確保に向けて取り組みを進めていく。

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

【調査項目】

教育行政について（不登校・ネットいじめについて）

【期 日】 令和4年11月17日

宮崎県全体の不登校、いじめの認知件数が全国水準6番目の多さとの報道を受け、本町の現状に対し不登校の要因、対応等について教育委員会と委員との意見交換の形式で調査を行った。

不登校に至る要因については、学業不振、対人関係、家庭環境不和、生活リズムの乱れなどが挙げられるようである。初期対応策として、各学校とも「悩みアンケート」や教育相談の実施。長期化した場合には別室での授業、タブレットを活用したオンライン授業の家庭配信などの対応を行っている。中学校には「スクールソーシャルワーカー」を配置し、2週間に1回の頻度で学校に来ていただく、「スクールカウンセラー」においては、その都度来校いただいているとの説明である。

町内におけるネットいじめについては、各生徒に貸与しているタブレ

ットに関しては、フィルタリングソフトが導入されており、直接的なネットいじめに繋がっているようではなかった。しかしながら、いじめはこの児童・生徒や学校でも起こり得るものである。その認識のもと、いじめ、不登校対策委員会を学校全体で組織的に活用し、未然防止に努めることが大事である。教育委員会側も、今後、個人所有の携帯等を使用した問題が発生する可能性も認識しており、保護者の協力のもと情報や機器の活用も共有していく事が必要と思われる。



【教育委員会との意見交換会】

■経済建設常任委員会

【調査項目】

就農支援について

【期 日】 令和4年11月24日

「担い手不足」解消に向け先進事例のある高千穂町において、就農者ヒアリングと高千穂ファーマーズスクールの取り組みを調査した。

就農者2人の共通した課題として「担い手不足」に危惧を抱いているところは我が町と同じであった。スクールの取り組みは本町においても可能だと思われる。特に独自の補助制度も非常に有効であるが、新規就農への道筋が解りやすかつ魅力的に提示され、受け手にとつていかにわかりやすいかに重点がおかれている。就業先の選定の傾向においては情報量の多寡が決め手になっていることから、新規就農者確保にとつて情報の取得し易くすることは有効な手段である。

高千穂ファーマーズスクール開設の経緯においては新型コロナウイルス感染症発生もあり、実に4年もの歳月がかかっているが今後の人口減少と担い手不足を鑑みるに、早急に取り組みを開始しなければならぬ

と考える。また、日之影町にはアグリファームもあり、他の自治体とは違うアプローチも考えられる。

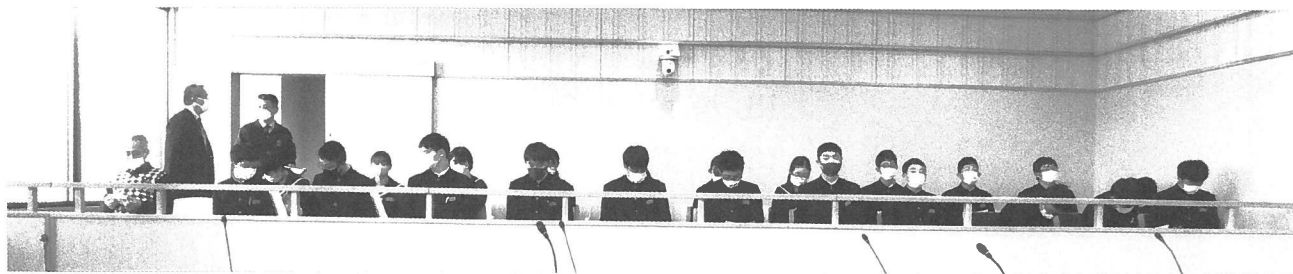
新型コロナウイルス感染症発生以降、農業や田舎暮らしに関心を寄せ若者が増加傾向にあるが、漠然とした思いはあっても具体的な方針は決まっていないという例が多々見受けられる。そのような方々を雇用し、実際に農作業を行う中で本人の意思が固まることも考えられる。このような取り組みは、現在農業を営んでおられる方々の有効な手助けになりえるものである。



【就農者のヒヤリング】

日之影中学校議会傍聴

令和4年第4回定例会一般質問が12月9日(金)に開会され、日之影中学校3年生が傍聴しました。生徒達の感想を紹介します。



今までに町のことを話している機会を見たことがなかったので、自分たちが思っている以上に町のことを考えてくださっているということがわかり、とてもありがたいなと思いました。なかなか議会の様子を見ることはないのでもいい機会となりました。

日之影町の課題を解決しようと長時間かけて、話し合っているとたくさん質問、案を出していることがとてもすごかったです。また、少子化を削減するためにイベントを開催するのがとても面白かったです。あと、どうやって話し合ってるかが分かりました。日之影町は人口が減少していくと思うので、自分ごととして考えていきたいと思います。

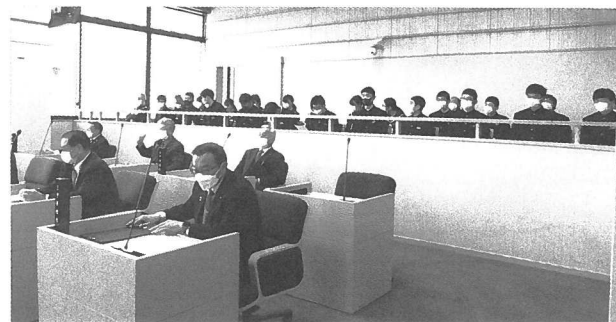
普段、議会を見ることがないのでとても貴重な体験ができ、これから生かしていきたいと思いました。議員の方々や、関係者の皆さんが日之影や、僕たちのことについて真剣に議論されているところを見るのができて良かったです。僕も大人になったら日之影に貢献できるようにしたいと思いました。

僕は、議会傍聴を聞いて日之影について話し合っていてとても面白かったし、結構楽しかったです。最初の方は、どんな風に話し合うのかわからなかったけど聞いていくうちに、とても興味がわいてきました。これから将来、議会傍聴に行きたいと思いました。

小学6年生のときも議会を見たのですが、そのときより議会の内容がスッと頭に入ってきて理解ができました。30年後の未来の日之影について、ユネスコエコパークについてなど自分が想像していた以上のことを話し合っていてすごいなと思いました。

今回の議会傍聴では日之影の課題を知ることができました。テレビでしか見ない会議を生で見られてとてもいい経験になりました。日之影の30年後について話し合っていて自分たちの日之影について話されていて自分も日之影についてもっと考えていかないといけないなと思いました。

町議会を見たのはこれで2回目になります。1回目は正直何について話しているかも分かりませんでした。しかし、3年生になり地元の問題について考えるようになったので、議会の内容がよく分かりました。一番関心を持ったのは「台風の被害」についての話し合いです。議員さん達や町長さんの話し合いから、とてつもない被害が及んだことが分かりました。次は一般の人として、議会に参加してみたいです。



■議会傍聴のご案内

次回の定例会は3月の開会となります。皆様の傍聴をお待ちしております。
また、議会に対するご意見等もお聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 TEL87-3808

表紙者紹介

今回は、高千穂地区農業協同組合日之影支所長と日之影町商工会長をご紹介します。



伊東 計 治さん
(高千穂地区農業協同組合
日之影支所長)

【出身地】高千穂町

【年 齢】56歳

【趣 味】釣り

【組合員数】1,091名

【コロナ禍で思うこと】

コロナ感染対策の徹底を心がけています。コロナ禍により地域振興の低迷が続いており、先行きが不透明ではありますが、必ず良いことがあると信じて頑張りましょう。

【会長としての苦勞・喜び】

いつも地域の皆さまに支えられ助けられて仕事をさせて頂いています。地域の皆さまの笑顔を見られる時が喜びを感じる瞬間です。



美吉 秀子さん
(日之影町商工会 商工会長)

【出身地】新日之影

【年 齢】63歳

【趣 味】剣道(特技)・旅行・陶芸

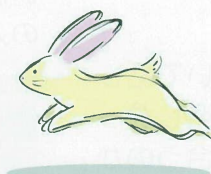
【会 員 数】148名

【コロナ禍で思うこと】

早く町の元気を取り戻したい。

【会長としての苦勞・喜び】

コロナ禍という大変な中ですが、地域振興事業の推進・経営支援などを行うことで、商工会員が増加しているところです。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。長かったコロナウイルスの閉そく感も徐々にではありますが緩和されてきました。秋ごろからお祭りなどのイベントが徐々に開催することが出来るようになり、町内の皆様におきましては交流の機会も増えてきたかと存じます。まだまだ復旧作業、物価高騰等々課題は山積みですが、議会一同皆様にとつての新年度がより良いものになるよう力を尽くしてまいります。

私個人としてはこの度、議会広報に初めて携わることになり、皆様が興味をもって読んで頂くために、読みやすくわかりやすい広報誌を目指して精進いたしますので、よろしく願いたします。

久保優一

発行責任者

議長 高館 英嗣

議会報編集委員

委員長 久保 優一
副委員長 一水 輝明
委員 甲斐 徳仁
委員 高館 英嗣